



よみがえった<sup>ほり</sup>湫 (回遊する鯉と、回る水車が風情を添える)

# 世羅高 同窓会会報

発行  
広島県立世羅高等学校  
同窓会報編集委員会  
世羅郡世羅町本郷870番地



## 第十号発刊によせて



同窓会会長 小島 敏文  
(昭44高卒)

今回で世羅高校同窓会報も第十号となりました。この間、本校は平成十八年に創立百十周年の記念式典と新体育館の落成、時を同じくして全国高校駅伝での三十二年ぶり五回目の優勝。五回の優勝を記念する石碑の設置など、輝かしくまた誇らしい出来事で彩られた歳月だったと思います。

今年四月に、新聞記者から入学式と、この十年間の本校の変遷についてインタビューを受け、私は自信を持って、「見違えるように変わりました。」と答えました。

全校生徒は、私語もなく厳肅そのものの雰囲気の中に新入生を迎えました。このような学校の今日があるのは、学校・保護者・地域の一方ならぬ努力と、同窓生の皆様の本校に寄せられる熱い支援の賜物と、改めて深い敬意と感謝を

捧げるものです。

去る十一月二日に開催された全国高校駅伝県予選において、男子は五年連続の優勝、女子も準優勝を達成しました。男子の場合、ケニア人留学生と日本人選手の力をうまく組み合わせた成果でもありました。一方、女子は相手校有利との下馬評を覆す熱い走りを見せ、惜しくも優勝を逃しました。中国大会では、安定した走りを五人でつなぎ、記念大会の枠で全国大会への出場権を獲得しました。走る技術だけではなく、まさに人間の力を磨き上げて来た伝統であることの証であります。

次に、国際交流推進につきましては、皆様の募金などのご協力により維持されていますが、今後ともケニアからの留学生の招へい、台湾との姉妹校縁組みについての支援を継続し、アメリカの学校との交流についても、現地在住の同窓生を窓口にした新たな事業として始めることを検討しています。

世羅郡内の急速な少子化の進行は高校の経営に大きな影響をもたらし、先年、三和高校が惜しまれながらその歴史をとり、久井高校も募集停止に至りました。本校もこのような少子化の波と無縁ではありません。地域の信頼を得られる学校として、文武両道を目指し、進学や資格試験における実績も目覚ましく、生活福祉科・生産情報科・環境科学科・普通科(特進ク

ラス)の四学科六クラスを維持しています。引き続き同窓会としても、学校に対する支援に努めて参ります。

終わりに本会の活動を一層活発で幅広いものにして行くための課題について申し述べます。

現在、活動が特定の人たちに限られ、中心となる方々が高齢化し年々負担が重くなつて行くという現実をどう改善して行くか、また、総会や各種会合の開催方法、同窓会名簿の積極的活用による会員への情報提供、募金活動のあり方など、会員皆様のご意見ご提言をいただき、検討を進めて行きたいと存じます。

本校がその特色を発揮し、地域に支えられた魅力ある学校として益々の発展を遂げるため、引き続き皆様のご理解ご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。終わりに各位のご健康とご多幸をお祈りしてご挨拶と致します。

## 進取と創造の 学園をめざして



校長 戸野 法史

同窓会の皆様、地域の皆様には、世羅高校教育の発展のために暖か

いご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて私ごと、四月に本校に赴任してほぼ半年が経ちました。この間、同窓会長はじめ、地元同窓生の方々、近畿同窓会、東京校友会、台湾同窓会の皆様にもお会いする中で、同窓会の皆様と手を携えて、本校の充実を図って行かねばならないと、気持ちを新たにしています。

先ず、同窓会を中心に国際交流の推進、陸上部等の充実のために様々な組織を作って活動をいただいておりますが、台湾同窓会のご支援によって実現した台湾屏東県立大同高級中学校との交流も七年を経過しました。今年は新たに、アメリカ合衆国との姉妹校縁組を目指して交渉を進めています。お蔭をもつて、「二十一世紀の世界を担う人材の育成」という目標を叶えることが出来るかと確信しています。

教育内容については、広島大学院教授池野範男先生のご指導により、「生徒が主体的に学ぶ授業の創造」を共通のテーマとした、二年間の研修プログラムの研究に着手しました。すでに二回の公開授業研究会を実施したところです。

授業を通して生徒を変える、生徒の学びの質が変われば学校も変わることを目的とした研究です。これらの研究実践を通して、教師の力を「授業を変える」という一つ

の方向に揃え、学びの質の向上に取り組みたいと考えています。

また、人材育成の基本となる「良心」の教育にも取り組んでいます。世界的に活躍する人材の育成は、その精神的支柱となる人としての良心の育成にかかっていると考えます。そのためには、授業を中心とした教師と生徒との

或は生徒間の信頼関係が最も重要ですが、クラブ活動や文化祭、体育祭などの学校行事も欠かせません。現在、クラブ加入率は八十%に近く、学校行事も充実しています。これに加えて、家庭での家族間の関係や、地域社会の学校に対する視線も重要となって来ますが、地域の皆様は、非常に暖かく生徒に接していただいています。多くの同窓生が地域で活躍され信頼も厚いことが、本校の生徒に対するまなざしの柔らかさに結びついていると感謝しています。

物心共にご支援をいただいている陸上部も、男女ともに、都大路を走るようになりました。「三年間クラブ活動に取り組み、個々の生徒の希望する進路の実現できる学校」として、引き続き文武両道の実現を図って行きます。

久井町、大和町などを含む当地域の中学校卒業予定者は平成二十四年度、本年度と比較して九十四名の減少となり、本校を取り巻く環境は大きな転換点を迎えます。地域からより多くの生徒を迎え

入れるべく、一層の教育体制の充実に努めて参ります。地域、同窓の皆様への厚いご支援をいただきますようお願いし、ご挨拶と致します。

## 恩師より

### 六十余年前の思い出



児玉 トシエ

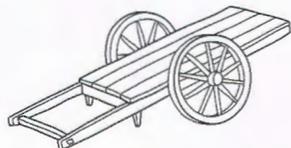
大妻コタカ先生の母校である甲山高等女学校に赴任の話があった時は、うれしくて飛び上がりましたが、いつの間にか六十余年も前のことになりました。着任後は、色々なことがありま

戦中になり、寄宿舎の薪取りに山へ行き、大八車を引いたのは初めてで、坂道のこわかったことは今だに忘れられません。学務員により呉海軍工廠で生徒と生活を共にしたこと、茶つみ、田植の勤勞奉仕、炭焼きの窯作りなど、初めての体験を色々としたことは今では懐かしい思い出です。

教室での勉強以外のことを色々体験したお陰でしょうか、甲山は故郷のように思われます。一年おきにある八十二歳になる生徒のクラス会には、成田から喜び勇んで出掛けております。

子育てが一段落した時には、教員復帰はむづかしく、以後は生け花に精進しました。現代花の二葉式生け花の流儀で、楽しく年を忘れて過ごしています。昨春秋の日本生花芸術展では、天皇、皇后陛下の行啓を賜り、初めて私の花を見ていただき、この上ない名譽なことでした。皇后様の何とも言えない品の良い微笑みは一生忘れられない私の宝です。古きにとらわれない新しいものを求めて、頑張っております。毎年行われております全国高校駅伝は、楽しく応援をしております。今年も頑張りたいと願っております。

懐かしい甲山高女の校舎がなくなり、訪ねてみたいと思っております。最後にになりましたが、世羅高校の益々の発展をお祈り致します。(児玉先生は、昭和十五年四月から昭和二十年八月まで在職。和裁・手芸を教えられ、寄宿舎の舎監も兼務されました。現在、千葉県成田市在住で八十九歳になられます。)



感性が光るアートな写真  
残しておきたい思い出の写真

ホームページで多くのお友だちの笑顔に出逢えます。ぜひ  
広島県高校駅伝、中国高校駅伝、速報写真掲載中!!

アート写真光房 阿部写真館 世羅町本郷  
TEL:0847-22-0213  
http://www.cameraman-abe.com/  
Eメール: info@cameraman-abe.com

TOCHU GROUP スズキ専門店  
スズキオートSHOP  
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

指定民間車検場 スズキサービス指定工場  
トヨタ車のことなら トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場  
アラタオート(株)  
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

世羅高校に二十三年



井上 皓

私が世羅高校に勤めたのは、昭和二十九(一九五四)年から昭和五十一年(一九七六)年までの二十三年間です。その前は、兵庫県北条高校に約五年間勤務していました。たまたま、世羅高校に化学の教員が欠員となつていて、聞き申し込んだところ、直ぐに決まり、本校に赴任しました。

当時、本校には、普通科三学級・生活科二学級(昭和三十三年家政科と改称)・農業科一学級・定時制普通科(夜間課程)一学級があり、私は普通科教員として昭和三十三年卒業のクラス、昭和三十五年卒業のクラス等の担任をしていました。

その後、校内の人事係から、農業科教員として位置づいてくれなにかとの話があり、私も農芸化学を専攻していたこともあり、承諾しました。その時から定年退職の日まで、農業科教員として、化学・農産加工・土と肥料などの教科を担当し、担任も持ちました。その間、私事ですが、私の子ど

もが三人いて、三年置きに次々と世羅高校に入学して来ました。一番上が昭和三十八年卒業の長女、二番目が昭和四十一年卒業の長男、そして三番目が昭和四十四年卒業の次女です。次女は、世羅高校在学中にAFS(アメリカン・フリード・サービス)の試験に合格し、学費免除でアメリカ、ノース・カロライナ州のチェリーヴィルの高校に一年間留学(同じ高校に通う生徒の家庭にホームステイ)しました。留学後、世羅高校を一年遅れで卒業し、国際キリスト教大学を経て、東京の「テレビマン・ユニオン」というテレビ番組制作会社に入つて海外取材やプロデューサーの多忙な生活を送り、結婚もしましたが、がんの発見が遅れ三十八歳で亡くなりました。

ところで、高校駅伝の名門校である本校は、昭和三十(一九九五)年の第六回全国高校駅伝で二位になり、校内は活気に満ちていました。今も元気な法野一行君らの時代です。

その頃は、学区も広く、久井などからも多くの生徒が自転車通っていました。その生徒たちに負けず、私も3kmほどの自宅から自転車通で定年まで毎日通勤しました。私の勤務した二十三年間は、教職員組合の組合活動が盛んで、文部省・県教委の方針と厳しく対立し、本校もその只中にありました。しかし、当時の教え子たちはたくま

しく成長し、「出藍の誉れ(しゅつらん)のほまれ」という言葉がありますが、今、教えた教師より遥かに優れた社会人として当地を初め各地で活躍しています。どす黒い藍(あい)から美しい青が生まれます。藍という植物を白(うす)で挽き、乾燥させ固めたものです。「青は藍より出でて藍より青し」です。「先生」「先生」と呼ばれますが、教え子の方が優れて立派なのです。「冥加に余る」ことです。教師の冥利です。世羅高校での二十三年間、健康で有意義に過ごせたことを感謝しています。

(世羅町中原在住。九十二歳)

同窓生より

馬鈴薯の花

松永 智子 (旧姓井口) (昭21女卒)

教壇に立たれ、挨拶が終わると「勿來」と板書。そして「読んでみる」と。一同声なく「どこに漢文を習っているのだ」と。返り点を打ち「來る勿れ」。そして、源義家の和歌を

吹く風をなこそそのせきと思へども道もせに散る山櫻かな

―千載和歌集―

淡々と解釈された上田教頭先生のお姿が、カーキ色の洋服と共にいまに鮮明。先生は、教科書にない

教材から授業を始められることがよくあった。この「勿來」も、そうしたものであつたとおもう。昭和17年4月、広島県立甲山高等女学校へ入学。当時、勤労作業が多く、学力の不足は歴然としていた。その日の先生は、言葉寡く授業を終えられた記憶がある。

昭和20年1月、わたくしたち三年生は、学徒動員令により、第一海軍航空廠(呉市広町)へ。飛行機の部品造りに従事。物資の不足、食料の不十分な日々。その上5月19日、米軍のグラマン機の銃掃射に遭い、5月5日は爆撃機の攻撃で、工場が壊滅状態に。寮は焼夷弾による被害を。そんなある朝、出勤の途中で見た馬鈴薯の花。小さな川を距て一面の野菜畑。葱やキャベツと並んで、馬鈴薯が花をつけていた。それをみつけたとき、ドキドキした。そして啄木の短歌

馬鈴薯のうす紫の花に降る雨を思へり都の雨に

どこで覚えたか定かでないこの歌が浮かんで来て、かなしいような、なつかしいようなおもいにつつまれた。「馬鈴薯の―」と幾度も心のなかでうたいながらあるいた。現実の花以上に歌の中の花は美しかった。そして、短歌のしらが快かった。花の季節が終わっても、啄木のうたはひびいていた。いまもふりかえると、それはことばの世界であそんでいたというこ

木製家具・スチール家具・別注家具  
カーテン・内装工事

(有)世羅家具センター

岡本 森夫(昭21中卒) 世羅町寺町  
孝生(昭42高卒) TEL.(0847)22-1364  
博文(昭47高卒) FAX.(0847)22-2633

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

本社  
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL0847-22-2121  
世羅バイパスSS  
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL0847-22-1151  
世羅配送センター  
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL0847-22-1136

とであろう。当時、そうした自覚はなく、ただ、心のバランスを保つための無意識の行為であった。

8月11日、岩国分工場へ転勤。空爆により広工場が作業不能になったためであろうか。そして、8月15日終戦。20日夜帰宅。二学期から授業再開。しかし八ヶ月間の空白は大きかった。体力が回復しても心のそれは埋まる事なく。

短歌を作り始めたのは、昭和25年。あの、馬鈴薯の花のうたとの出会いから10年経っていた。そして今に作りつづけている。所属誌「地中海」の創設者香川進は、歌を作ることは「人間とは何ぞや」(生きるとは)を自らに問うことだと。その言葉に叶うたはいまだにできないが、その方向へ試行錯誤の五十余年。その間、多くの言葉に出会った。最も鮮烈な出会いは、「文学の精神はね、どんな場にあっても飛翔することだよ」と、言い残した夫のことば。何があっても「生きろよ」という最後のメッセージとして聞いた。

昭和45年8月30日のこと。あれから40年近く、この言葉はいまなおあたらしいひびきを放つ。その源に、上田一正先生の存在があり、和歌、短歌との出会いのあったことをおもう。

(広島市在住)

### 「世羅高駅伝」 還暦を迎えて



森重 定雄  
(昭24高卒)

顧みれば、母校が世羅中学校(旧制)時代、昭和二十三年二月八日、大阪で行われた第一回全国中等学校対校駅伝競走大会に、内海富貴郎先生のご指導監督のもと、森重定雄、宗重恒夫、末国規治、岡田菊二、橘和千至、前友弘、竹本時夫の七名の選手によって初出場し、参加校五十八校中七位に入賞して以来今年は満六十年の節目の記念すべき年に当たります。

人生では還暦の歳に相当し、誠に意義深くご同慶の至りです。この半世紀を越える永い年月の間には、渾身の努力の甲斐も無く、不運にも全国大会に出場できず無念な一面もあつたことに思いを致すと共に、全校挙げて幾多の難関を乗り越えて、五回も全国優勝を成し遂げ、輝かしい伝統を築かれて今日に至ったことは、偏に歴代の諸先生方を初め、同窓生各位並びに地域の方々の温かいご指導ご支援の賜物であることに感謝し、深甚の敬意を表します。

因みに、六十年前を振り返って見ますと、当時は終戦間もない頃で、終戦の爪痕が至るところに残り、世の中は目標が見えない混乱の道を辿っていました。衣食住もままならないご時世でしたが、人情細やかな世羅地域は、引き揚げ者や疎開者を温かく迎え、農村の利を活かして食糧不足に対処し、助け合い、お陰で、栄養失調の生徒はいなかったようです。学生帽、学生服など無く、身に着けるものは殆どが戦鬨帽や軍服軍靴の払い下げ品で間に合わせ、それなりに格好良く着こなして悦に入っていたものです。取り分け、改良自作のマラソン足袋などは代表的な一例です。今にして思えば、不平不満を言わず、よくよく我慢してきたと思えます。誰もが敗戦の絶望感や悲壮感など超越し、何事にも意欲的で明るく、活力がみなぎっておりました。また連帯感があり、互いに切磋琢磨して勉学に勤しんだことも確かです。

この時代にあつて、我が「世羅高駅伝」は芽生えたのであります。その種を蒔き、育てた人こそ恩師、内海富貴郎先生であります。創立以来、文武両道、質実剛健を基本理念とする世羅中学校は、戦後復興の中にあつて、先生は金のかからないスポーツの原点、陸上競技の復活をめざして指導され、それを契機に昭和二十三年二月八

日の第一回全国中等学校対校駅伝競走大会に創立以来初の出場をし、監督として堂々七位の入賞をもたらされたのであります。この栄光は、世の荒んだ青少年達を、強く正しく導く、灯台の役目を果たしたと言つても過言ではないでしょう。この大会に、小生は幸運にも第一区走者として選ばれたことを、光栄に思い深く感謝しております。今年も駅伝シーズンが到来しましたが、わが母校世羅高等学校の檣に託された名声が、あの都大路に、延いては、全国に、また海外に響き渡るよう、関東の一隅より祈念して止みません。

「頑張れ！世羅高校！」  
(千葉県八千代市在住)



前列中央が筆者

地域とともに大きなふれあい

# 株式会社 山平組

代表取締役 山平正登

世羅町別迫711 ☎(0847)24-0111(代)(本社)  
☎(0847)24-0226(代)(工場)

OA機器・事務用品・学用品 } 卸・小売  
オフィス家具・教材教具・教科書 }

## 森田尚文館

森田 努 (S29年卒)

世羅郡世羅町 TEL 22-0136(代)  
FAX 22-3051

半世紀前に

思いをよせて



深串 和子 (旧姓田淵) (昭32高卒)

昭和二十九年に入學、学校までは出身地、旧東村(現在世羅町別迫)から自転車通学で四十分の道程でした。赤屋の坂を下り、往き

今、当時を思い返してみますと、私は生活科に入學。生活科は新築の四館に教室があり、一館から三館迄は木造の校舎で、職員室や普通科教室と化学の階段教室などでした。化学の授業はカバンを持って階段教室へ移動をしていました。午後の授業の眠たいこと、苦手の化学は時々睡魔に襲われていました(先生ごめんなさい。みえていたでしょうね。)

私の昭和三十二年卒のクラスは、A・B組が生活科、C組が農業科、D・E・F組が普通科でした。現在もこの三十二年卒は、同窓会が定期的に行われて楽しい話で盛り上がります。

生活科では、普通科目その他に和裁・洋裁に料理実習などの科目があり、特に和裁と洋裁は授業だけではかどらないので、宿題として家で縫ってることが沢山あり、普通科目の宿題と縫い物とで大変だったように思います。

思い返しますと、和裁や洋裁の教材費、料理実習費と次から次への出費で、教材費を両親から度々もらうのは心苦しく思っていたものです。今では両親に感謝の気持ちで一杯です。

クラブは音楽部と周才千明先生顧問の演劇部に入り、学園祭では演劇発表を、間近になると夜迄講堂の舞台で練習をしていました。実家は商売をしていますので、母はよく、クラブも珠算部などに入って勉強すればよいのと言っていました。卒業される三年生の予餞会があり、ここでも「粋な黒

屏見越しの松に♪」と唄われた当時流行した「お富さん」を踊る



立っているのが筆者

など、とに角、芸事が好きでした。それで、今では舞踊教室を三教室と生花教室を週二回頑張っています。各公民館で大勢の方々が習って下さることで自分の活力と励みになり、自分自身もまた高める為の学習もして、自分よりも年配の方からは人生の勉強をさせてもらい、若い方からはエネルギーをもらい、こんなに良いことはありません。近畿同窓会でも松尾会長のもと、常任幹事の一員として世羅高の駅伝の応援はもちろん、同窓会の発展の為、微力ながら役立てればと思っています。年代を超えての故郷の方々との懐かしい思い出話、そして世羅の近況等、近畿同窓会へ出席していればこそ情報を聞くことが出来ま

高校生活三年間の

思い出



神田 正史 (昭51高卒)

私は昭和四十八(一九七三)年農業開発科一期生として、夢膨らませながら伝統ある世羅高校に入學しました。担任は、一年藤原一三先生、二・三年は掛谷春夫先生(のちの世羅高校校長)でした。一年生の秋の体育祭で、学年の応援団として参加し、学年対抗の応援合戦で見事優勝し、その後私を含めて数人が先輩の誘いで、生徒会直属の応援団に入部することになりました。三年生の頃には、広さ六畳もの大応援団旗を作成したり、チアガールも結成され、にぎやかな応援風景でした。

二年生の夏には、クラス担任の許可をもらい、ホームルームなどでクラスみんなと計画を立て、バスの手配やキャンプ用具の準備などをし、大久野島にキャンプに行きました。のちの生徒委員会の比婆山キャンプの元となる行事でした。そのようなところから、クラスはまとまっていたし、掛谷先生からは、自分たちの手でやると

在校生の皆さんも卒業されて、関西方面へ来られましたら、近畿同窓会には是非出席下さいまして、年代の違いを越えた人々との語りいで、又新しい「人生発見」をなさいませんか?NHK朝の連続ドラマ「ひとみ」では、「出会った人が私の財産」と言っていました。が、良い言葉ですね。人とつながりを大切に、穏やかに生涯青春で暮らしたいと思うこの頃です。(大阪府高槻市在住)

健康で住み心地の良いお部屋造
家屋を守る白蟻消毒
株式会社 もみの木 畳店
世羅郡世羅町 TEL (0847) 22-1426(代)
FAX (0847) 22-1893

郷土の発展に貢献する
井上建設株式会社
一般土木・ほ場整備・舗装・水道・建築・リフォーム
三原市久井町江木1471 TEL 0847-32-7125
FAX 0847-32-8366

いうことを教えていただきました。一年生後期から、怖い(?)先生から生徒会に入るように勧められました。小・中学生では、人前に立つことの経験がなかった私は戸惑い、近所の佐伯正子先生に相談し、「何事もチャレンジよ!」と言われ、生徒会に入り涉外という仕事を三年間やることになりました。

生徒総会で初めて体育館の壇上でひざをガクガクさせながら、全校生徒の前で行事報告をしたことを思い出します。

卒業まで、生徒が合宿するところや食堂を作りたいとの一念で動き回り、そのことが校長先生やPTA、同窓会の役員の方々に受け止めていただき、念願の「生徒ホール」の建設が実現しました。

また、応援バスの手配などでのバス会社との交渉では、高校生を相手にバス会社の方々が誠心誠意尽くしていたこと等を通して、人を信じられるようになり、人の為に尽くしたいと思うようになりました。

チャレンジ精神で入った生徒会活動は、卒業後、公務員となった私に、町民に対しての接し方や地域の役員活動に役立っています。そんな公務員生活も今年三十年を迎え、なお一層奮起しながら、これからの人生を頑張っていきたいと思えます。

(世羅町在住)

## 「世羅高校百十年の歩み展」を振り返って

林 光輝  
(平2高卒)

本校創立百十周年を記念し、同窓会主催、世羅高校共催、世羅町および世羅町教育委員会後援により、平成十九年十二月八日から平成二十年一月十三日の約一ヶ月間、世羅町「大田庄歴史館」(今高野山参道沿い)の展示室を会場に、標記の展示会を開催しました。時期の関係もあり、来館者は百八十五名に留まりましたが、中には遠方の同級生に呼び掛けてグループで来られた例もありました。期間中、中国新聞の取材を受け、写真と記事が載りました。また、十二月十五日にはOBの藤井志郎さん(昭15世羅中卒)、浅野智恵子さん(昭20甲山高女卒)のお二人に記念講演をお願いし、卒業生を中心にとした約五十名の来聴者が、懐かしい当時の思い出に浸りました。



一、「歩み展」の趣旨  
本校百十年の校史の中に先人の努力の跡をたどり、それを継承する現在の世羅高校の姿(各科の幅広い教育内容、クラブ活動など生徒の活動)を紹介し、本校の将来の展望を探り、地域の人々の理解と支持を広げる。

- 二、「歩み展」の構成
- ① 甲山高等女学校の歩み(多田ミチ女史) 郡立世羅女学校 県立甲山高等女学校 新制甲山高等学校
  - ② 世羅中学校の歩み(千葉三郎氏) 私立峻世館 郡立高等補習学校 町村学校組合立世羅中学校 県立世羅中学校 新制世羅高等学校
  - ③ 高校再編成による男女共学・総合制の「広島県世羅高等学校」(のちに「広島県立世羅高等学校」と改称)の発足(昭和二十四年)と、今日までの歩み。



三、主な展示資料  
・旧制時代から現在までの校舎の写真パネル・修学旅行・卒業証書・制服・使用教科書・寮の表札・階段の手すり(一部)・時鐘・大太鼓・軍事教練・生徒職員・戦前戦中の台湾留学生・現在の世羅高校(各科の教育内容・陸上部・農業クラブの全国大会での活躍)など約四百点。

四、展示会の成果と課題  
本校の校史の展示を校外で行ったのは初めてであり、学校と地域の人々との距離を縮めるための一助となったと思われまます。同時に同窓会として次のことが課題として残りました。一つは、「創立百周年記念誌」と並んで、校史を物語る写真・文書・物件などの諸資料を整理して目録を作り、次世代へ手渡すこと、同窓会の色々な事業についてより広く同窓生に情報提供と呼びかけを行い、幅広い協力体制を作ることです。



(世羅町在住)

警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)  
人材派遣事業部(般34-300074)

じつとく  
株式会社 實徳コーポレーション

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷39-7  
TEL (0847) 25-5271 FAX (0847) 25-5272  
(0847) 22-0500

# 進物の玉浦

☎0847-22-1107  
FAX.0847-22-1567



〒722-1121  
世羅郡世羅町西上原612-2  
営業時間/AM8:00~PM7:00  
年中無休



# 学校だより

## 「進路状況および取り組み」

### 進路指導部

平成19年度の本校進路状況は、4年生大学73名、短期大学25名、専門学校60名、就職(公務員を含む)は45名でした。卒業生の進路先は、多岐にわたっており、進路指導体制も多様できめ細やかな指導が求められています。大学全入時代といわれている昨今、安易に進路を決定せず、じっくりと自分の将来を見定めて、進路目標をもち、その実現のために努力する生徒を育成していきます。

本校は、広島県教育委員会から「進学指導重点校」に指定されて3年目を迎え、習熟度別授業、放課後および休業中の補習授業、世羅塾、低学年対象のサテライト授業、各教科の添削指導、小論文・面接の個別指導などの取り組みとともに、進学意識を高める進路別ガイダンス、進路講演会、大学出張講義、「進路通信」の発行などを行っています。

就職指導については、就職ガイダンス、対策テスト、面接指導などを充実させたことと地元企業も含めて多数の求人を出したとき、就職を希望する多くの生徒が、ほぼ希望通りの就職を決定することができました。これからも職業観・

勤労観をしっかりと持った生徒を育てて行くために「キャリア教育」の視点に立った進路指導を充実させていきたいと考えております。

## 男子・女子ともに

### 都大路へ

#### 陸上競技部

全国高校駅伝県予選が、11月2日、三次で行われた。男子は54校が参加、午後0時20分一斉にスタート。1区中原(3年)が2位に50秒以上の大差をつけ、2区の竹内(2年)につなぐ。前回1区のケニア人留学生、ピタン・カロキ(2年)は3区。向かい風をものともせず一人旅。4区は北(2年)が登りと下りが続く坂道を力走、5区黒木主将(3年)へたすきを渡す。6区山崎(3年)は、さらにピッチを上げる。最後は松井(1年)が堂々とゴールテープを切り、2時間6分52秒で五連覇を達成した。

女子は30校が参加、0時30分にスタート。1区から3区までは先頭が入れ代わるめまぐるしい展開だった。1区は世羅の藤原(2年)他4人が先頭集団を作った。2区は藤井(2年)が広島井口を追う展開で力走。3区で世羅の貞森(3年)と鈴峯女子が一騎打ちに。世羅は4区の日南住(1年)

と5区の木村(2年)が鈴峯に食らいついたが、4秒差で2位となった。

県大会の翌日、女子は中国大会での必勝を目指し、岡山県井原市へ試走を行った。朝練習、10〜12kmのコースを走る選手たちに監督は元気をもらった。中国大会では広島井口、如水館に先行を許し苦しい展開になったが、4区藤田の頑張りが5区木村の大逆転につながり、地区代表の権利を獲得し、男女ともに全国大会へ駒を進めることになった。最後まであきらめないことの大切さを女子チームは教えてくれた。



# 地域だより

## 東京校友会

会長 秦典三(昭20中卒)

暦では霜降りの時節です。付近の境内の木々も彩り始めました。この時期に、麻生首相は官邸に記者を集めて会見し、米国発の金融危機を未曾有の大災害と呼び、百年に一度の暴風雨に例えました。この時局を忍耐強く乗り切りたいものです。

さて、東京校友会の設立は、昭和三十八年一月十三日、品川区西山での設立総会にさかのぼります。その時の出席者は二百名前後で、発起人にとっては大変な作業でしたが、目出たく納会となりました。(注)以来、三十回の総会を持ちましたが、規約で「総会は二年一回」と定めた関係で、年数と開会回数が合致しません。

第三十回記念行事は、予定企画した台湾訪問旅行を実施し、九月二十日出発し三泊四日の記念旅行となりました。二〇〇二年、母校世羅高校が、大同中学校と姉妹縁組を結んだ関係で、同校を訪問し、「熱烈歓迎」という最高級の歓迎を受けました。報告はこれに留め、母校の全国高校駅伝の男女そろって出場を願い、筆を擱きます。

**スーパーマーケット**  
**白谷屋**

■本部 世羅郡世羅町大字西上原字鎌倉880番地5  
TEL (0847) 22-2828代  
FAX (0847) 22-2665

**パオ**

甲山ショッピングモール  
世羅町西上原  
TEL (0847) 22-3820

# 近畿同窓会

会長 松尾 千九三(昭25高卒)  
 十九年度総会は本年六月八日(日)、大阪梅田の「大東洋」にて開催。母校より今年度新しく着任された戸野法史校長、金尾則満世羅町副町長のご参加を頂きました。戸野校長より母校の近況、特に陸上部の本年度の意気込みと健闘状況を詳しくお聞きし、金尾副町長からは世羅町の現況と将来展望をお話し頂くなど、参加者全員大きな期待と喜び、安心を抱かせて頂きました。以下、近畿同窓会の前年度の主な活動を報告致します。

○平成十九年

・四月七日

関西同窓会協議会総会に参加

・五月二十日

広島県人会総会ふる里ふれあい祭に参加

・六月十日

近畿同窓会総会開催

・八月十九日

母校同窓会総会・駅伝歴代優勝記念碑除幕式に参加

・十一月十七日

旅行クラブ日帰り旅行

(京都伏見散策)

・十二月二十日・二十一日

母校より北川校長・近藤教諭が来阪

# 呉支部

支部長 大原重徳(昭33高卒)

## 「呉・世羅」

「ふるさととは、遠きにおいて思うもの…」とは、室生犀星であったと思うが、私達が住んでいる呉から世羅は、「すぐそこ」という感じである。最近、特にその感を強くしている。

私が若かった頃、出身が世羅郡だというと、「それは広島県にあるん？」と問い返された。世羅の知名度はまだ低かった。最近良く、「日曜日に世羅郡に花を見に行ってきた。」という話を聞かされる。周辺の人で、世羅へ行ったことのない人は殆どいない。

呉・西条間、尾道・世羅間の自動車専用道路も開通する。ますます故郷は近くなる。そして呉も世羅もどんどん変わる。ところが、故郷世羅が変わらない時がある。年に一度の同窓会の集いの時である。

故郷の話に花を咲かせる訳だが、そこでは甲山・久井が、大田・大見・西大田が、そして小国・三川・別迫が鮮やかに蘇るのである。

# 本部だより

## 〈総会報告〉

今年度の同窓会総会を八月十七日(日)、世羅町本郷「玉乃家」で開催しました。小島敏文会長・戸野法史校長の挨拶で開会し、陳恒盛台湾同学会会長、十河研一東京校友会副会長、松尾千九三近畿同窓会会長より祝辞を頂きました。

●総会議事

- ①役員改選(会長以下再選)
- ②平成十九年度事業・決算報告および監査報告(承認)
- ③平成二〇年度事業計画(承認)
- ④平成二〇年度予算案(承認)
- ⑤記念品料に関わる同窓会規約の改定(承認)

## ●報告事項

①同窓会報第十号の発行(編集委員の委嘱、広告依頼等)

## ●懇親会

記念撮影の後、波田幸代幹事長の挨拶と藤井志郎様による乾杯の音頭により懇親会が始まりました。その後、参加者全員による自己紹介、陸上競技部の現状報告、世羅高校紹介ビデオの上映がありました。学生時代の思い出、母校への思いや現況を話され、和やかな懇親会となりました。



◎陸上競技部歴代優勝記念碑写真複製書(六枚入り)を一組一千円で販売しております。  
 ◎同窓会へのご寄付に対するお礼として、校歌CDを差し上げさせていただきます。(二〇二千元以上)(以上、同窓会事務局まで)

## 〈計報〉

◆繁森 行(すすむ)氏。  
 甲奴町字賀。享年八十四歳。昭和三十三年から三十九年まで、定時制中心校(夜間課程)に勤務され、国語担当の教諭として、生徒の生活や進路についても熱心に指導されました。

## 編集後記

「母校の様子がもつと知りた」といいう同窓生の要望が、「同窓会会報」の発行に至った動機でした。以来、九年が経とうとしています。発行の経費を各年度の同窓会予算では賄いきれず、第三号から地元企業に紙面広告をお願いし、その収入で予算を補い、発行を続けて参りました。皆様のご好意に支えられながら、今回、節目に当たる第十号をお届け出来ます。すこすこ厚く感謝申し上げます。発行の都度、ご寄稿くださった方々を初め、お力添えをいただいた皆様に深くお礼申し上げます。

## 〈編集委員〉

- 伊藤陽康(昭28卒) 石原正俊(昭28卒)
- 松島延江(昭28卒) 阿部玲子(昭29卒)
- 大田良晴(昭37卒) 近藤 寿(昭56卒)
- 林 光輝(平2卒)

LOTAS CLUB    ESSO    BRIDGESTONE  
 カーケア&タイヤショップ

# 片山自動車工業

有限会社  
 広島県三原市久井町江木76-1  
 TEL. (0847) 32-6605  
 E-Mail : ktyam@lotas-katayama.co.jp

iwatani Life-Up マルチプロパンガス・管工事業  
 昭和シェル石油特約販売店・住宅機器  
 小型合併槽のことならおまかせください!

# マルチ株式会社

世羅郡世羅町西上原597番地

TEL 22-1101(代)  
 FAX 22-2568